

平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
外国語	英語表現 I	1	3-2～3-4

1. 学習の到達目標

1. 実際に英語でコミュニケーションをとるときに役立つ様々な英語の表現を学ぶ。
2. リスニング力を強化する。
3. 授業を通じて、英語を使ってコミュニケーションをとることの楽しさ・おもしろさを体験する。
4. 会話で使える英単語、熟語を覚えて、基礎学力の徹底を図る。
5. 授業を通して、人権問題等を考える機会を持つ。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	Lesson8 世界平和のために (国際社会) 中間考査 Lesson9 沖縄美ら海水族館 (生き物) Lesson10 未来を切り拓く (生き方) 期末考査	国際社会で活躍する団体などをテーマに学ぶ。 (助動詞 must / have to / should) 人気動物をテーマに学習する。 (不定詞 (名詞的用法、副詞的用法) 様々な生き方を知り、自分の生き方や社会に生かすこと の重要性を学習する。(不定詞 (形)、など)
2 学 期	Lesson11 はやぶさの帰還 (自然科学) Lesson12 不思議な絵 (芸術) 中間考査 Lesson13 ヒエログリフ (外国語・ことば) Lesson 14 私たちの街にガオー (ご当地) 期末考査	日進月歩の自然科学をテーマに学ぶ。(動名詞) さまざまな分野の芸術作品をテーマに学ぶ。 (受動態) ヒエログリフ、ジェスチャーや点字など様々な形で用 いられる言語をテーマに学習する (現在分詞、過去分詞) 日本各地特有のもの、いわゆるご当地ものをテーマに 学習する (関係代名詞)
3 学 期	Lesson 15 書道甲子園 (活躍する高校生) Lesson 16 どれが一番? (地理) 学年末考査	活躍する高校生をテーマに学習する。(関係副詞) 著名な建築物や地理・自然を取り上げ、その高さ、長 さ、大きさなどを比較する中で比較級と最上級を学習 する。(比較級/最上級)

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期考査、提出物 (プリント)、授業態度などの総合評価
------	-----------------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	英語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりできる。	英語を聞いたり、読んだりして話し手や聞き手の意向などを理解する。	英語の学習を通じて言葉とその背景にあるものの考え方や文化を理解し、知識を身につける。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	SELECT English Expression I (三省堂)
副教材	自作プリント、就職英語 (中部日本教育文化会)